

神戸教区 教会牧師・信徒の皆様

主の平和をお祈りいたします。

昨年 11 月に清里で行われました「日本聖公会 宣教協議会」では、神の宣教の業に参加していく教会の教役者・信徒は、神と人びとの声を聞き、言葉や働きを通して信仰を証ししていくことが確認されました。一方、昨年の神戸教区第 93（定期）教区会において教区宣教委員会から各教会の牧師・信徒の皆様以下に以下の通りの「宣教提言」をさせていただきます。これらを受けて 2 年後の 2026 年の神戸教区宣教 150 年に向けての宣教フレーズを「ともに聴き 分かち合い 伝えていこう、イエスさまの福音を」としました。

今、教区内の各教会では、信徒の高齢化や減少、それに伴う様々な問題が、宣教の大きな障害となっています。そのことを踏まえ、また、私たち一人ひとりの信仰の在り方をもう一度、学び返す良い機会ととらえていただきたく、各教会で出来ることから始めていただきたくお願い申し上げます。神様の宣教の業に教会の教役者・信徒、一人ひとりが、学び、考え、参加していくことが、解決への第一歩となります。

2024 年 1 月 神戸教区宣教委員会

各教会への宣教提言

【わたしたちのビジョン】

～ 日本聖公会神戸教区宣教 150 周年まであと 3 年 ～

「ともに聴き 分かち合い 伝えていこう、イエスさまの福音を」

* 各教会への提言 *

目的 各教会の牧師・信徒は協力して宣教のために下記の内容を立案、実施できるように各教会で協議することを提言する。

1. 教役者

教役者が信徒・求道者に対して行ってほしいこと

- ・信徒（弟子）教育（信徒がみ言葉を語れるようにする）
- ・オルター・アコライトなどの研修
- ・キリスト教についての学び
- ・キリスト者としての生き方の学び

教役者の自己研鑽

- ・わかりやすい説教
- ・祈りとみ言葉による養い

2. 教会（教役者・信徒）

- ・教会内での宣教についての学びと分かち合い
- ・対外的宣教活動

例 バザー、コンサート、講演会など

宣教協働活動

例 伝道区内の教会、関係施設、近隣教会（他教派）、地域の団体など

他団体への支援

例 教会施設の提供、協力献金、署名活動など

* 詳細については、各教会で検討する。